

医療崩壊は少しずつ始まっています

～年末年始に皆様をお願いしたいこと～

神奈川県医師会新型コロナウイルス感染症対策本部作成



新型コロナウイルス感染症の新規感染者が急増しています

- コロナ新規感染者が急増すると → 市中のどこで感染してもおかしくない状態になります
 - ↓
 - 入院が必要な患者が増えます
 - ↓
 - 重症者が増えます
 - 死亡者が増えます
- ↓
- 病院や介護施設でクラスターが発生するリスクが高まります
- ↓
- 地域の基幹病院でクラスターが発生すると
- 外来の停止、入院・救急医療体制が一時的にストップします

このままではステージⅣが間近です

ステージⅢ 通常の**緊急性の低い診療を制限**して、コロナ診療に重点をシフトする段階

- 予定入院の延期
- コロナ入院基準の見直し（軽症者の入院を減らす）
- コロナ退院基準の徹底（発症10日目以降の退院、転院）

毎日の新規感染者200人以上が続く場合、ステージⅢからステージⅣまではあっという間です

ステージⅣ **通常の診療と、コロナ診療のどちらも大幅に制限**せざるを得ない段階

- 通常の診療が大幅に制限される
- 通常の救急診療が制限される（救急患者のたらい回しが起こる）
- コロナ診療が制限される（ベッドが満床で対応ができず、介護施設でそのまま対応せざるを得ない）
（年齢などにより最初から積極的な治療の対象外とされる）

医療崩壊とは・・・ 従来、行えていた通常の医療が行えなくなる事です

- コロナ感染者を診るためには、通常の倍のスペースと、倍の人員が必要です
- 10床のICUをコロナ対応のICUに転換すると5床になってしまいます
- 5人のコロナの重症者に対応するために、10人の従来の重症者に対応するベッドが失われます

- 従来の重症者とは、交通外傷や、心筋梗塞や脳卒中などの集中治療を必要とする方です

医療崩壊は絶対に防がなければならない

- いままで助かっていたけがや病気で命を落とすことになる！！！！
- コロナに感染しても、ベッドが満床で年齢などで集中治療の適応外とされる！！

医療崩壊を防ぐために我々医療者が行っていること

- コロナ病床の増床（人の確保が大変に困難で、当初の予定通りには増やせていません）
- 一般診療の一部制限（経営面でも苦渋の選択）
- 入院基準の見直し スコアリング神奈川モデル（入口制限）
- 発症10日目以降の速やかな医療連携（出口戦略）

医療崩壊を防ぐために 県民の皆様をお願いしたいこと

- コロナとの我慢比べに負けないで！
- 3密を避ける
 - 行列、人混みをみたら、静かに並ぶのではなく、またの機会と引き返す
 - 換気が悪そうな屋内空間には長居しない
 - 会食はワクチンが出来るまで我慢する
- どこでも、いつでも、マスクを外さず仲良くする
- なにかに触った後は必ず手を洗う or アルコール消毒
 - 手にコロナがついても感染しない、コロナがついた手で目・鼻・口を触ると感染する
- 室内は換気・換気、加湿・加湿

神奈川県医師会が薦める 年末年始の過ごし方

- お住いの地元の発熱・急病診療体制を行政・医師会のホームページで必ずチェックしておきましょう
- できるだけステイホームで過ごしましょう
- 外出しても、人混みをみたら引き返しましょう（決して並ばない）
- 正月三が日の初詣は避けましょう（神様は寛容です）
- 初売り我慢、新年会我慢、餅つき大会我慢、離れた家族が集合も我慢
- 広い場所で、家族で凧あげくらいはOK！（寄り道、外食は我慢）

皆様の自律的な行動が、新規感染者数を減らし、医療崩壊を防ぎます！